

第14回ワンデザインクラス全日本選手権（丹野池）参戦記

J763 福家 2017年9月20日

グレーシャスクラス

今年2017年のワンデザインクラス全日本選手権はCR914はエントリー者が少なく不成立、グレーシャスは6名のエントリー、DF95は7名のエントリーで合計8名の参加者うち2名はオープン参加でさみしかったですね。

9月17、18日の大会が近づくにつれ天気予報では台風18号が日本列島を縦断との予報。丹野池での大会当日の予報は曇り、風速7m、翌日は6mとなっており、純正のBリーグでも厳しいと判断して、1日前にBリーグを10cmほどカットして持っていました。

DF95はCリーグまであったのでそのままでした。

これがズバリ的中し17、18日とも7～8mの風、時折10m以上のブローが入り丹野池特有の風で風向は定まらず、難儀なレースでした。

エントリー者は6名と寂しかったですが天候にも恵まれ、それなりに楽しみました。

私の後輩が2名（倉科君、地濱君）が高松（蓮池）から参加してくれましたが今回のような強風はあまり経験がないようで、苦勞してたようです。

今大会はサバイバルレースで、エントリーの6艇とも多かれ少なかれトラブルがあったようで、優勝候補の平尾さんが浸水の為か、メカトラブルで数回リタイヤされ、トラブルが1回だけだった私が優勝してしまいました。

第1日目の風は操船エリアからみて左から右方向の北東の風で7～8mで時々丹野池では珍しい白波もたちレースによっては1位も有りましたがダントツのビリもあり、池田会長からはなんで風のない所ばかり選んで走らせるのかと言われっぱなし、やはりヨットレースは運を味方にしないと勝てませんね。

2日目は前日とは逆の風で右から左の南寄りの風6～7mで右土手からの風、上マークあたりで風が振れ回り苦勞しましたが下りではプレーニングも楽しみましたが、艇が早すぎて付いて行くのが精一杯、まして今大会は3クラス予定なので3レースのうち1レースは休憩出来ると予想していたのですがCR914は不成立で全レース参加となり年寄りにはきつい大会でした。 後、数日で後期高齢者になります。

大会を運営されました静岡支部、本部のみなさんエントリー者の確保、運営者の確保で、苦勞なされたようでお疲れ様でした。

有難うございました。